

雷の子

カトリック町田教会
町田市の中町 3-2-1
電話 042-722-4504
FAX 042-722-4512

いかにずちの子

<http://www.machida-catholic.jp/>



あなたこそわたしの神、わたしは
あなたに感謝します。わたしの神
よ、わたしはあなたを崇めます。主
に感謝せよ、主は恵み深く、その慈
しきは永遠。

詩篇118.28-29

でも、十字架がある

主任司祭 林 正人

またまた、読んだ本の紹介です。

昨年秋に出版され、耳目を集めた一冊の本があります（不覚にも、当時は気付きませんでした）。タイトルは『さよなら、田中さん』。著者は「鈴木るりか」さん。随分ハイカラな名前とお思いになるでしょうか。実はこの方、十四歳の中学生なのです。けれど、この少女の著した本が……いやー面白かった！ 正

直ストーリーは、中学生らしい単純なものですが、紡ぎ出された文章が天才的（と言いますか、ほとんど「天才」なのです。哄笑し、感心し、感銘を受けました。例えば、主人公の女の子が、アパートの大家さんの二ト息子と喋る段。

「『犯罪をするにしても、ある種の情熱が必要だからね。俺にはそんなもの、ありやしない。いわば空蟬だよ。命の灯火が燃え尽きるのを待っているだけの骸なんだよ』」息子は、短いため息をつく

（…この「るりか」ちゃん、クリスチャンではないかと思うのですが……。個人情報ですし、詮索は控えましょう）この最後の段など、正に「十字架の神秘」を解き明かしています。人の悲しみと痛みに満ちた世に、主イエスは同じく人として来られ、同じ痛みを、否、考え得る最上の苦しみを、痛みを受けられました。この主の苦しみを、そして十字架の死あるからこそ、私たちは如何なる苦しみ遭遇

教会共同体の豊かな信仰生活

運営委員会議長 一村 弘幸

運営委員会の議長を拝命してから一年が経ち、無事に職務を果たし任務を終えることができました。これも信徒の皆様、運営委員会へのご理解、そして絶大なるご支援、ご協力のおかげであり、また、頼りない議長をなんとかしなければならぬと、奮起していただいた運営委員の皆様のご尽力のおかげであると、衷心より感謝申し上げます。

運営委員を経験させていただいたお陰で、いろいろと町田教会のことを知ることができ、とても楽しい思いをさせていただきました。それに、教会運営のことで神父様とお話しする機会も多くなりますので、とても勉強になりました。しようにとも、「主が私に寄り添い、私の苦しみを共に担って下さる」と確信することができそうです。十字架は私たちの「ボーダーライン」、「苦しくても十字架がある」、です。『さよなら、田中さん』に登場するお母さんは、「もし死にたいくらい悲しいことがあったら、とりあえずメシを食え」と言っています。私たちは、兎にも角にも、十字架を見つめましょう。そこに「命」があります。

2018年度 町田教会の主な年間行事予定

- 2018年1月1日(月) 新年のミサ
 7日(日) 新成人祝福式・新年会
 2月4日(日) 四旬節黙想会
 (佐藤直樹神父・サレジオ修道会)
 18日(日) 2015年度カトリック町田教会信者総会
 24日(土) 外国語による四旬節黙想会
 (井上武神父・レデンプートル会)
 24日(土) ゆるしの秘跡(2/24・25)
 3月29日(木) 聖木曜日(主の晩餐)
 30日(金) 聖金曜日(主の受難)
 31日(土) 聖土曜日(復活徹夜祭)
 4月1日(日) 復活の主日
 6月3日(日) 初聖体
 7月下旬 教会学校夏期キャンプ
 8月15日(水) 聖母被昇天のミサ
 10月28日(日) 長寿感謝のミサ・茶話会
 11月4日(日) 町田教会合同追悼ミサ
 11日(日) 七五三祝福式・カトリック府中墓地墓参
 25日(日) 待降節黙想会(柳田神父・イエズス会)
 12月1日(土) 外国語による待降節黙想会
 (ディンド神父・神言修道会)
 ゆるしの秘跡(未定)
 24日(月) 主の降誕(夜半のミサ)
 25日(火) 主の降誕(日中のミサ)

えたり、フオーク・ミサに
 与ったり、奉獻文も第一奉獻
 文から第四奉獻文まで経験す
 ることができました。
 また、ミサの前にお告げの
 祈り、聖務日課(教会の祈
 り)やロザリオの祈りを行う
 教会もあり、いろいろな経験
 をさせていただいたことが、
 自分の信仰生活に刺激と豊か
 さをもたらすことができました。
 そして、町田教会を他の
 教会と比べてみて(本来は比
 較する必要はありませんが)、
 「これほど元気で明るい、活
 気に満ちた教会はそうはない
 だろう」と自慢できるほどに
 なりました。
 教会をただミサに与るだけ

の場、祈りだけの場としては、
 私たち教会共同体の信仰生活
 は成り立たないような気がし
 ます。やはり、個々の信徒が
 教会のいろいろなことに参画
 し、教会内外での善き行いが
 伴ってこそ、カトリック教会
 共同体の信仰生活だと思いう
 です。そういう信徒がいる教
 会が、豊かな信仰生活を送る
 ことのできる教会だと確信い
 たします。これからも微力な
 がら、町田教会が祈りの教会
 より一層豊かな信仰生活がで
 きる教会となりますよう尽く
 してまいります。この一
 年間、大変お世話になりました。
 ありがとうございます。

町田教会担当!
 生産・販売
 農業指導者
 経営のアドバイザー
 副理事 遠藤琢也さん

イサバタ 福島やさい以田-復興プロジェクト

原発事故による風評被害で苦しむ福島農家を救おう!
 7年前 というプロジェクトをいしぽ(池水)

代表の 柳沼千賀子さん

収穫したばかり
 新鮮 作物
 約40軒 農家 福島県内
 買い取り

土曜日 AM2~3時
 日曜日 AM5~6:30着
 満載して出発
 イエスパン

首都圏の
 カトリック教会
 約30カ所
 場所提供
 (東京・千葉・埼玉・神奈川)

1か所に1人で販売
 なので教会の方に
 ボランティアをお願い
 している

販売

毎日日曜日 3~5カ所で販売
 AM7:00前後~PM12:00頃
 産物たち
 安全確認 福島 全ての農作物が
 そう 農業県
 風評被害は 輸入に頼ら
 ないで! 自国で
 まかなえるように
 食 農業
 人にしては
 なくてはならないもの
 福島の農業問題は
 日本の農業問題でもある!
 共に復興への道を模索
 していけたらと!

2011年10月から販売支援開始!
 前「ぶたのしっぽの会」設置販売に!
 代表・元 信子さん
 (はじめ)
 (現在奄美在住)

鈴野孝志さん
 (前「ぶたのしっぽの会」)

立木欣吾さん
 被災地支援センター事務局長

教会の方多数
 (横浜の雙葉の
 学生さんの応援も!)

「一人の人も食えない人はいない」
 社会を目指して活動!
 「フードバンクニ本松」も
 たちあげました!
 食べられるのに捨てられて
 しまう、企業や家庭にある
 食品をもらい、それを必要な
 施設や生活困窮者へ
 無料で配布する活動。

「福島の応援して
 くれませんか」
 お手伝いも!
 近所の方も
 お買い求めと!

〒964-0906 福島県二本松市若宮1-370
 e-mail: yasaibatake2012@gmail.com
 HP: http://fukushimayasaibatake.web.fc2.com/
 TEL/FAX: 0243-24-7444 理事長: 柳沼千賀子
 福島やさい以田-プロジェクト(NPO法人)

図書係

教会図書紹介

★神父さま、なぜ日本に？

—ザビエルに続く宣教師たち

女子パウロ会編

「行く!!みんなその思いだけでしたね」

日本の教会は、今から百年以上も前に再宣教が始まり、さまざまな国から派遣された宣教師が、異なる歴史と文化の中で福音をあかし続けたからこそ、全国に根づいてきたのです。

ある神父さまの言葉です。

「漢字も言葉も大変です。でも、もしも若くなれるなら、また日本に来ます」と。

私自身の歩みを振り返ってみても、たくさんのお神父さまにお世話になりました。

宣教師の喜びと苦勞を、この本を読んで改めて知り、感謝の気持ち一杯です。

(宇治 惇子)

★心を病む人と生きる教会

英隆一朗・井貫正彦編

心の病への手助けを信仰を持つ者からとらえた本です。前半は精神疾患の概要とそれに対する専門的な手当て。後半はキリスト者の支援者や当事者による素直な思いや報告が挙げられています。

病の現状を受容し自らを神に委ねる姿勢こそ究極の癒し

に繋ることと、支援者も専門的なサポートを受けつつ神の愛を深く信じて当人に寄り添う大切さが説かれています。

(井上淑子)

★新約聖書ヨハネの黙示録

田川建三訳・著

黙示録は啓示文学といわれているが田川氏は幻想文学の傑作の一つとしている。ふつうに読んではわかりにくい。著者は福音史家ヨハネと思っていたのに考証の結果まったく関係がないヨハネだそうだとヨハネが晩年をすごしたとされているエーゲ海のパトモス島は観光地になっているが。

田川氏は新約聖書の四福音書、使徒行伝、すべての書簡、黙示録の訳と註を全七巻で完成された。ひとつひとつの言葉を原文のギリシャ語と照し合わせ、徹底的にかつ綿密な検証で可能な限り正確な日本語で訳したとある。こ

とばの説明は書かれた時代の状況や背景に関する解説に及び、ひとつの言葉が何ページにも及んでいることがあるため八七四ページという大作なので読み通すには根気が要る。その絵画的な描写の文章は中世キリスト教に大きな影響を及ぼしたとされ、十二の星の冠をいだき三日月をふまえた聖母の絵姿もこれに由来している。

(横塚千枝子)

宮ヶ瀬湖畔に遊ぶ

西山 多美子

冷たい雨の朝、妙齡婦人ら八名、イケメン男性一人の一行が本厚木駅に降り立った。駅前で、がらがらに空いているバスに乗る。街なかを走り抜け、田園風景となるころには、窓外はだんだん明るくなり、雲が流れ去り、太陽が車窓に映える。「ああ、天気になってきた」と一同心が躍る。高所のセピア色から下方へオレンジ、イエロー、ライトブルーと樹々は色模様を描き、山のひだから上昇気流につれて薄いヴェールのような

山霧が空へと昇り、低山といえどもさながら深山幽谷の様を呈する。ほどなく終点、下車。空気がうまい。ここでごやかな萩島が夫妻と合流し、展望台へと向かう。遠くは高取山、物果山、華嚴岳の峰々が連なり、色のグラデーションは一幅の絵画となっている。足下には広大な草原が広がり、子供らが嬉々として走り遊ぶ。犬との散歩、老人らの逍遙、誠にのどかなり。汽車を模した観覧車ミィヤ号がかわいいい飾りつけをした箱車三両ばかりを、鉄輪ならぬ太タイヤでゴロゴロと引っぱってき



成人式 一月七日
おめでとう

特別寄稿

無名の聖人たち

東京教区司祭 油谷 弘幸

日常、直感的に「これだ!!」と一挙に真理を感得することがある。

映画「八年越しの花嫁」を見た。婚約者の女性が突然の病で植物人間状態になる。

回復のめどはない。相手の男性は毎日病院を訪れ、彼女を見守り介護にあたる。奇跡的な回復、長いリハビリの末八年越しで結婚式にこぎつける。子供もできて幸せに暮らす。結婚式場がこの話をネットにアップした。大評判となり、テレビも取り上げ、そして、この映画になる——実話の重みで圧倒された。「これ程までに人は人を大切にできるものか」そして思った。「この男の人はまぎれもない聖人だ」同時に思った。「この人は特別の人ではない、普通の

人だ」。本来なら社会の一隅で生起して密

やかに消えていく日常の一コマ……それだけで終わる筈だった。それが偶々耳目に触れ周知された、それだけのこと。とすれば……「人が人を大切にすること」奇跡の出来事は日常周囲に無数に起こっている筈だ。全く違う形で、本人たちも気づいていない、だが間違いなく人が人を大切にすることの出来事、そして、その主人公である無名の聖人、その方々は周囲に溢れている。私はそれを確信した。

そして、それは、まさかと思ふかもしれないが、今、この文章を読む、あなたのすぐ傍で起こっている。そして、まさかまさかと思ふかもしれないが、この文章を読んでいる、あなた。あなたのことなのだ。



心にかえり乗り込んだ。車窓から昆虫の森や水辺のバーベキュー小屋などが見える。草原のレインボーツリーや低木などもみなクリスマス風のデコレーションがなされていた。一度だけ下車を許され、大吊り橋を渡る。橋の上も周りも銀色のガラス珠オーナメント形のデコレーションがところ狭しと吊り下げられていた。灯ればさぞや見事であろう。湖はダム湖と親水池とに分かれ、ダム湖はライトグリーンの水を満々と湛え、かたやダークブルーの親水池には岩や石が配置され、何百とも知れぬ水鳥が声を上げて羽ばたき、水を浴びて戯れる。車椅子の家族連れやヨチヨチ歩きのチビちゃんも手を引かれ踊りながら渡り歩く。向こうに野外音楽堂やけやきの丘、船着き場が見える。まるで宇

宙空間にいるような気分であった。ふたたび観覧車の客となり、ゴロゴロと終点についた。ドライバーさんが親切にも、昼間だけどと言いなからミーヤ号のLED照明のイルミネーションを灯してくださった。米粒くらいの電球が一斉に色とりどりの光を放つ。「ありがとうございます」と心から感謝をした。

総合案内所に入り、しばし休憩。茶菓などいただきながら、今日の幸いを喜び合った。今日のレクリエーションを主宰された方々にお礼を申し上げるとともに、何よりも、幸いな一日を与えて下さった主イエズス様にひたすら感謝するのみである。本当にありがとうございました。

【ウェルカムテーブル主催の宮ヶ瀬湖畔エリア紅葉狩りは昨年11月に催されました】

犠牲献金

中高生会

12月3日 8,650円

(ペロニカ苑へ)

1月7日 5,016円

(ペロニカ苑へ)

2月4日 11,952円

(ペロニカ苑へ)

「雷の子」の次号編集会議は4月8日9時30分の予定です。



クリスマスお泊り会

(12月9日・10日)

ツリーの飾りつけ、ケーキ作り、プレゼント交換、ゆるしの秘跡にミサと、楽しく充実した1泊2日でした。



ヨゼフ会新年会 (1月28日)

信 者 動 静

2017年7月～2018年2月

(個人情報のため、削除しています)